



# たけのこ通信



2013年 NO.9

平成24年度補正予算、続いて平成25年度予算が成立し、安倍政権は着実に日本再生の歩を進めています。しかしながら、ねじれている参議院では、民主党の抵抗により衆議院から全会一致で送られてきた法案の審議も進まないという委員会も見られ、あらためてねじれ解消の必要性を痛感しました。夏の参議院選挙では、必ずや勝利を収めねばなりません!!

ただ、我々のめざすゴールは参議院選挙の勝利ではありません。予算や法案がスムーズに通る状況を作り出したときにこそ、謙虚で丁寧な国会運営を心がけ、この国に必要なことを真摯に議論し、一つ一つ結果を残していくこと。それが、衆議院選挙で圧倒的勝利を与えていただいた自民党に求められていることだと思います。消費税や沖縄の米軍基地問題のように、時には耳触りのよくないことでも、国民の皆様をお願いしなければならない場面が出てくるでしょう。それでも我が国の現在と将来のために必要なことは、力強く進めていくという責任と覚悟。参議院選挙の勝利は本当のスタート地点に立たせてもらうため、そんな想いで熱い戦いに臨んでいきたいと思えます。

安倍政権が誕生して、少なくとも景気の「気」はずいぶん回復したように思えます。しかしながら、地方の景気回復の実感は、まだまだ。「地方こそ原点」のわが党のキャッチフレーズ通り、これからも地方の現場の現実をしっかりと見つめ、その声を届ける自分自身でありたいと思えます。



参議院議員  
渡辺 猛之

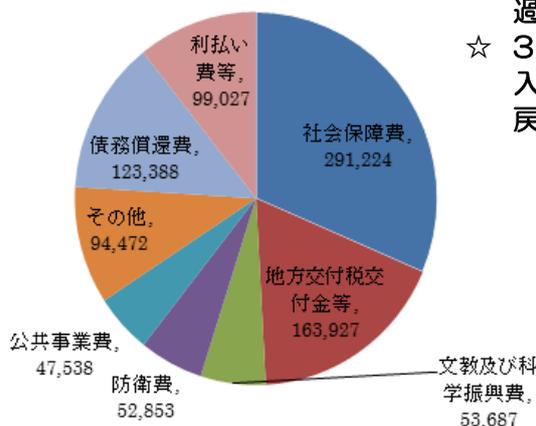
## 平成25年度 本予算が 成立しました!!



5月15日の深夜、平成25年度本予算が成立しました。

昨年度の補正予算とあわせた「15ヶ月予算」で経済の再生を急ぐ一方、「復興・防災対策」「成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」に重点化することで、経済再生と財政健全化、両方の達成を目指します!

インフラの老朽化や安全保障環境の変化などの緊急課題に対応するために公共事業費・防衛費を充実させる一方、生活保護や公務員人件費について適正化することで、メリハリをきかせました。



☆ 総額は92兆6116億円で、過去最大規模です。

☆ 3年ぶりに、税収が公債金収入を上回る、正常な姿を取り戻しました!



## 国際交流

党国際局の次長として、また各国との友好議連のメンバーとして、外国の要人や駐日大使館職員と交流する機会が増えてきました。

歴史や習慣、何より国益が異なる国同士、ときにぶつかり合うこともあります。それでも最後は人と人。何重ものパイプを持つことが今後一層重要になるでしょう。

「議員外交」にも力をいれていきたいと思えます。



## 憲法について 考えよう

5月3日、青年会議所主催の憲法タウンミーティングに参加しました。

ディスカッションでは、弁護士や大学の教授と、非常事態条項や新しい人権、改憲手続きなどのテーマについて議論を交わしました。

特に憲法第9条については、変更すると日本が戦争をするようになるという意見もありますが、戦争をしたい国会議員も国民もいません。

憲法改正は、9条だけの問題ではありません。なぜ改憲が必要なのか改めて一人一人が考え、安倍政権の下で真の憲法論議が深まることを期待しています。



## 小規模企業支援、ステップアップ

渡辺たけゆきが事務局長を務める「小規模企業を支援する参議院の会」が、結成から1周年を迎えました。

今回は全国商工会連合会・中小企業庁のほか、岐阜県商工会連合会の若林会長をはじめ全国10県から幹部の方をお招きしました。

そのあと行われた懇親会でも話は尽きることなく、政・官・民それぞれの観点から、疑問や要望、現状をぶつけ合う、大変有意義な時間となりました。連携も一層深まったことと思います。

この会を今以上に活かし、小規模企業の活性化に精一杯取り組んでまいります！



スリランカの、マヒンダ・ラージャパクサ大統領と、友好的握手



南大東島にて、村長さんから説明を聞いているところ



← 憲法タウンミーティングでの講演

福島県いわき市内の仮設住宅街



## 青年局・南大東島視察

3月、自民党青年局のメンバーで、南大東島を訪問しました。

過酷な自然条件でも栽培できるさとうきびが、島の唯一といってもよい産業です。何の対策もなく TPP に参加すればさとうきび産業は壊滅、島に住む人もいなくなる…

「さとうきびが島を守り、島が領土を守る」の言葉の真意を自民党青年局のメンバーにわかってほしい、とお招きいただきました。

村長さん・村民の皆さんから率直な意見を伺い、時間いっぱい島の現状を見せていただいて、TPP 推進派も慎重派も「やはりこのような素晴らしい離島は守らなくては」との想いは一致したはずでした。

国益を最大化するための努力を惜しまない一方で、数は多くないけれど真面目に直向きに頑張る人々や地方を切り捨てるような手法は断じて取ってはならないと考えます。

一見違う方向を目指しているような TPP 推進派と慎重派も、議論を重ねることによって、お互いが片目をつむりながらも納得できる結論が必ず見つかるはず。

そう信じて、TPP の課題に向き合っていきたいと思えます。



↑ 自民党ぎふ政治塾で、伊吹文明・衆議院議長に講演していただきました！第2期も、8月に10回目の講座をもって修了式を迎えます。

## 被災地訪問～福島県

昨年の6月に青年局で訪問して以来9ヶ月ぶりの福島は、被災して2年経つとは思えない姿。仮設住宅を訪れたときは、入居者の一部の方から辛辣な言葉もいただきました。

原発被害を抱える福島では、まったく先が見えない不安から、厳しい言葉が口から出てくるのは当然かもしれません。

それでもそこには、「復興の道筋が見えてこなくとも、最後に期待するのは政治しかないんだ」という微かな願いがあるのだと思います。

復興が一朝一夕に叶うものでないことは重々承知していますが、「少し前に進んだ、先が見えた」と被災者の皆様に思ってもらうことが我々の責任なのだ、改めて強く感じる再訪でした。

渡辺たけゆき国会事務所 担当：鈴木

100-8962 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 325 号室  
電話 03-6550-0325 FAX 03-6551-0325

QR コードはこちら▶

